



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
 ●編集：議会広報委員会
 ●発行日：平成30年1月25日
 ●〒891-9295
 鹿児島県大島郡知名町知名307
 TEL 0997-93-3119

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。本年は平成納めの年、前進する知名町のさらなる発展に向けて議員一同取り組んで参ります。

知名町議会

主な内容

- ◆ 新年のあいさつ 2
- ◆ 第3回臨時会／第4回定例会のあらまし 3
- ◆ 一般質問 4～8
- ◆ 町民と語る会 9
- ◆ 議会この1年(トピックス) 10
- ◆ 第3回臨時会／第4回定例会で審議された案件 11
- ◆ 議会の動き／編集後記 12

本年が皆様にとっ
て
幸多い年に
なりますように！



ちなポー
知名町マスコットキャラクター

新年の挨拶

知名町議会 議長 名間 武忠



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、議会への傍聴や「議員と語る会」に多くの皆様のご参加を頂き有り難うございます。これからも、議会に関心を持って頂くようお願い申し上げます。私どもは、皆様から頂いた町・議会への要望・意見・提言等については、議会定例会や各委員会等において、一般質問や議案審議、更に日頃の議員活動に反映させ、実現に向け取り組んで参る所存であります。そのためには、議員一人ひとりが町民の声に耳を傾け、町民目線で誠意と情熱をもって地域と共に歩む議会活動が肝要だと認識しております。

ところで、昨年11月には、天皇后両陛下が沖永良部へ初めてご訪問され、多くの住民が沿道で小旗を振っての奉送迎やフローラルホテル前での提灯奉迎に喜びと感動で涙を流す人もおり、両陛下が常に国民に寄り添う、優しいお姿に尊敬と親愛の念を持ち感銘を受けました。今回のご訪問は、島民への大きな励ましになることはもちろん、沖永良部の長い歴史に特筆として刻まれることと思えます。

3月に指定された奄美群島国立公園は、今後の観光客誘致、交流人口の増加に大きな期待が寄せられます。また、鹿児島黒牛が5年に一度開催される全国和牛能力共進会において、団体総合優勝を獲得し、日本一の称号は畜産農家にとって朗報であり、仔牛価格に相乗効果が期待されます。

本町においては、昨年12月21日に今井力夫町長が就任しました。公約に掲げた「町づくり」を基本とした各種政策の実現に大きな期待をするところです。議会として、「議会は執行部とは一歩離れて二歩離れるべからず」の基本姿勢を以て、議会と執行部が適度な緊張感を維持しながら活力ある議会運営を目指し、更に各々の政策には是々非々を旨とした議論に努めて参ります。

今年は、新年早々から始まるNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送、「明治維新150周年」や「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が見込まれ、更に奄美・徳之島・沖永良部・那覇を結ぶ奄美群島アイランドホッピングルートとした新たな航空路線の開設が予定されるなど明るい話題、利便性向上に大きな期待をしております。こうした中、奄美群島振興開発計画は、復帰後の昭和29年度から今日まで、生産・生活基盤の整備を始め交通網や公共施設整備による群島内の経済・産業の発展に大きく寄与してきました。平成30年度末には、現行の特別措置法が最終年度となり、群島の現状から奄美群島振興交付金を含め法延長は必要不可欠であり、群島民の要望が叶えられるよう更なる拡大拡充が望まれます。

私共は本町の課題である人口減少、少子化、若者の定住・雇用の確保、農水畜産業の増産・高値取引など農家の経営安定と後継者育成、高齢化社会に向けた福祉の充実や商店街・地域の活性化などの対策に全議員が一致協力して努めて参ります。ご理解ご協力をお願いいたします。

本年も皆様にとりまして、幸多い素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。 平成30年 元旦

平成29年第3回臨時会・第4回定例会

第3回臨時会 第4回定例会 のあらまし

知名町議会第3回臨時会とは、11月6日に開催され、平成29年度知名町一般会計補正予算（第4号）を承認し、旧下平川保育所模様替工事の工事請負契約の締結1件を可決しました。

また、第4回定例会は、12月12日から14日の日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に5名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案審議では、知名町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例他2件を原案可決、字の区域変更について1件を可決しました。

補正予算審議では、一般会計及び国民健康保険特別会計など8会計の平成29年度補正予算を原案可決しました。

意見書の審議では、「全国森林環境税」の創設に関する意見書を原案可決しました。（森林の公益的機能を継続して確保し、地球温暖化対策として温室効果ガス削減目標達成のため、森林吸収源対策の推進が不可欠のため）

第4回定例会 一般質問

5名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。4ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。（質問順に掲載）

○ 今井 吉男 議員

1. 町営住宅建設の地域分散化について
2. 通学路の安全対策について
3. 災害発生を想定した避難訓練と、避難所の耐震強化について

○ 大藏 哲治 議員

1. 人口減少と公営住宅について
2. 教職員の働き方について
3. 旧知名幼稚園跡地の整備について

○ 根釜昭一郎 議員

1. 長寿化計画及び住宅問題について
2. 指定ごみ袋の有料化について
3. 島留学について
4. たばこ税の目的税化について

○ 外山 利章 議員

1. 町政運営について
2. 行政対応について

○ 西 文男 議員

1. 町営住宅について
2. 障がい者支援について
3. 地域防災計画について
4. 県大会等に参加する、児童生徒の保護者負担軽減について
5. 町長の5期20年について



人口減少とその政策展開について



大蔵哲治 議員

町長／間断なく取り組んで行く

問 ④地域おこし協力隊の更なる募集と現隊員の定住に向けた取り組みは。

答 町長 Ⅱ現在の計画を進めながら、各集落で建設地の確保、財源補助事業等勘案しながら進めたい。

問 ⑤新庁舎建設は人口規模に見合った規模と考えるが検討委員会はどう進んでいるのか。

答 町長 Ⅱ規模、敷地については具体的に決定していません。スケジュールを前倒しし、早めの推進をと考えています。

問 ③青年就農給付金事業の現状と経営指導は。

答 町長 Ⅱこの事業を活用し、これまで16名の就農者が確保され、1名は250万円以上の所得となり、1名は離農、現在14名。又、各研修会も開き健全な経営指導も行うところとです。



婚活パーティー（大人の星空観察会）

問 ⑤婚活イベントについて。

答 町長 Ⅱ昨年度は男性21名、女性10名の参加がありカップル成立が1組と聞いています。今年度は2月に開催予定です。



活動が広がる地域おこし協力隊員

問 ⑥定住促進事業で旧九電社宅を買い取りはできないか。

答 町長 Ⅱ九電から話しがあ

問 ③教職員の健康管理はどうなっているのか。

答 教育長 Ⅱ各学校で労働衛生推進委員会を設置し、又年に1回の定期健康診断や臨時健康診断、希望者は人間ドックなどでも健康管理を行います。

問 ②長期休業中に「学校閉館日」を設ける検討は。

答 教育長 Ⅱメリット、デメリットもあるようなので他市町村教育委員会と足並みを揃えたい。

問 ④教職員の住宅不足に対する今年度の取り組みは。

答 教育長 Ⅱ住宅の整備は財源的に厳しい状況にあります。従来型の公共事業によるのではなく民間の資金、経営能力を活用したPFIによる整備ができないか検討しています。



児童クラブとして活用される旧知名幼稚園

問 旧知名幼稚園跡地の有効活用について。

答 教育長 Ⅱ来年4月の児童クラブ開所にむけて、幼稚園遊戯室の改修工事を進めてまいります。又、入口は現在、東門を利用しており道路幅員も狭く偏依している箇所ともなり不便であります。臨港道路からの入口の新設については、現場を見て協議したい。

長寿命化計画及び住宅問題について



根釜昭一郎 議員

町長／平成30年度に個別施設計画の作成を 考えている

問 長寿命化計画及び住宅問題について。

答 町長 本町では、公共施設の老朽化が進む現状を踏まえ、平成28年3月に「知名町公共施設等総合管理計画」を作成しており、平成30年度に個別施設計画の作成を考えており、次期総合振興計画策定の準備と合わせて全庁的に持続可能な公共施設のあり方について検討を行ってまいります。



整備が進められる知名C団地A棟

問 地元居住者向けの空き家リフォーム等は計画していないか。

答 企画振興課課長 現在は、定住促進事業として行っている。地元居住者向けの空き家リフォームは所有権や制度設計等を含め様々な課題があり、現段階では難しいと考えています。

問 指定ごみ袋の有料化について。

答 町長 一般廃棄物の収集・運搬及び処分は、市町村の責務であり、市町村が自ら行うこととなっております。現在、本町は和泊町と共同でごみ処理に関する事務を行う沖永良部衛生管理組合を組織してこの事務にあたっております。



ごみ処理施設(沖永良部クリーンセンター)

問 ごみ処理施設への町負担の費用はどれくらいか。

答 町長 指定ごみ袋による費用は両町で折半となっております。平成28年度決算数値によれば、両町それぞれ141,587千円の負担となっております。内訳は、ごみの処分にかかる費用に対する負担金(施設のランニングコスト)が99,219千円(70%)で、施設整備に要した費用に対する負担金(公債費)が42,368千円(30%)となっております。

問 ごみ袋の有料化によって年間いくらかの財源が捻出できているのか。

答 町長 指定ごみ袋による収入は、組合から小売店への卸売価格で、それぞれ20枚入りで大袋が860円、中袋が571円、小袋が393円となっております。収入額は、平成28年度が28,098千円となっております。

問 ごみ袋の料金の減額は考えていないのか。

答 町長 指定ごみ袋制度によるごみの有料化は平成10年度から行っており、ごみの処分に係る費用の約1割を町民の皆様が負担して頂いております。これは受益者負担を課すことで、ごみの減量化や資源化の必要性を町民の皆様にご

理解頂くための施策であると考えておりますので現在の所減額の考えはございません。ちなみに沖永良部衛生管理組合ではごみの再資源化も取り組んでおり、アルミ缶等の資源ごみの収益は運搬に要する経費を除いた純益が平成28年度は994千円となっております。

問 島留学について。

答 教育長 これまで町村教育長会における研修会で島留学制度に関する研修会をしたり、情報を収集してきましたが、留学生を受け入れたときのメリット、デメリットもあるようであり、また、島留学制度をスタートするまでにはいくつかの課題を解決する必要があることや費用対効果などの検証もあり、現在検討を進めているところであります。

問 たばこ税の目的税化への提言について。

答 町長 町の収入である市町村たばこ税は、法定普通税として、使途を特定せず、一般経費に充てるために課されている税です。実際の財政運営の中で、特定の事業に充てることではございますが、あくまでも予算上は一般財源としての扱い方となります。



外山利章 議員

5期20年に亘る町政運営の総括は

町長／厳しい財政状況の中、予定した事業は概ね実現でき、悔いのない20年だった

問 町政運営について。行政運営の経験者として安定的な財政運営で特に重要だと考えることは。

答 町長は事業導入に関してはまず国、県の補助メニューを選び、足りない部分に関しては担当と十分協議して効率のよい起債を利用すべき。今後も施設整備に伴う償還が続くが以前に比べ公債比率も下がり、財政調整基金もあるのだから活用するか。短期間で事業を集中すると財政的に苦しくなるので財政規律を守りながら町づくりをするべきです。

問 町政運営で大切にできた一人間（ヒト）、資源（モノ）、財源（カネ）の中で今後取り組むべき課題は。

答 町長は行政である以上財源が背景にあるべきだが、地域を守っていくのは人材であり、次の世代の人材育成が大事だと思っている。

問 今後の町の在り方について。

答 町長は国、県の動向を見極め、全方位的に情報を収集しながら、役場職員や関係機関と連携を密にし、新町長が目

指す町づくりにも注いで欲しい。

問 行政対応について。住民ニーズの代弁とも言える一般質問に対する答弁への対応、進捗状況は。住民参加型のまちづくりを進める上で要請があれば勉強会などに役場職員の派遣を行うと答弁があったが周知は行われているか。

答 総務課長は残念ながら勉強会を開催する旨の告知は行っていないが、団体、組織から要望があれば職員の派遣などに対応する。



研修に取り組む農業後継者

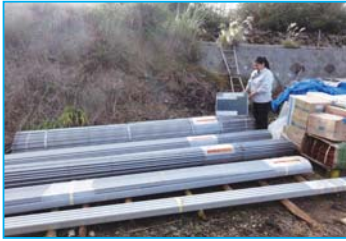
問 子育て支援策を周知するため分かりやすいパンフレットを作成し、子育て世代に配布してはどうか。

答 子育て支援課長は子育て支援策の情報発信については制度改正など確認しながら前向きに進めていきたい。

問 スポーツ少年団の用具購入に対する日本生命財団の助成事業の周知は行ったか。

答 子育て支援課長は他の助成制度等も含め、スポーツ少年団の指導者、保護者会に周知したい。

問 農業の町単独事業内容の決定には生産者ニーズをもっと反映させるべきでは。アンケートを行っては。



畑地かんがい圏芸産地確立事業（資材供給）

答 農林課長は施設園芸を推進する上でもそのような声を踏まえ、財政とも協議しながら進めていきたい。

問 農業後継者育成の面から農業関係の学校へ進学する生徒も特別奨学生の対象とすべきでは。

答 教育長は農業関係の特別奨学生については資金、必要度など奨学生推進委員会で検討していききたい。

問 地域住民や団体との連携による教育環境の充実に向けたネットワーキングづくりについて、具体的な話し合いは行われているのか。

答 教育長は各学校が持っている人的財産の一元化や学校ニーズの把握など町全体としてネットワーキング化できないか検討している。

問 地域で育てる子供達を本場の意味で実現するためにも地域で活動している個人や団体を対象に登録制の教育サポーター制度を設けてはどうか。

答 教育長は学校ニーズを把握したうえで利用しやすいネットワーキングを進めていきたい。

本町若者定住住宅入居条件はどのようになっているか



西 文男 議員

町長／入居者申込者の中より優先順位で選考

問 今後出産により幼児との同居が見込まれる者とは具体的にどの段階の事を示しているのか。

答 建設課長は母親が母子手帳を受け取った時点と言う。



町内4地区に整備されている若者定住住宅

問 入居者の選定条件を結婚した時点からに緩和出来ないか。

答 建設課長は平成8年から9年の国費負担が無く起債事業で建築した住宅の為、補助の条件等を確認して、可能か判断します。

問 知名町心身障がい児施設等入所者見舞い旅費助成金事業で、6月議会では1回の助成との回答でしたが現在はどうか。

答 町長は知名町心身障がい児施設等入所者見舞い旅費助成金事業では、同一年度内3回を限

度として助成しています。
問 3月議会でも質問した、高齢者や障害者の避難施設との協定はどうなっているか。

答 町長は特別養護老人ホームさくら園の方からは評議員会や理事会でも議題として取り上げていただけており、準備が整ったら協定を締結できるものと考えております。沖永良部徳州会病院とは引き続き協定が結べるか協議します。

問 県大会等へ参加する児童生徒の保護者負担軽減について。



島外大会へ参加する子供たち

答 教育長は鹿兒島市内に、選手、指導者、保護者等の宿泊施設があると、離島の私どもとしては大変ありがたいことでありまして、小規模自治体の1市町村では施設の維持管理には無理があり、県に要望

していくのも一つの手だてではないかと思えます。

問 県内の有人離島の市町村長と共に県に働きかけは出来ないか。

答 町長は宿泊施設を設置・運営するには多額の費用を捻出する必要がある、他の離島の市町村とも連携しながら、粘り強く要望して行く必要があります。

問 平安町長が就任時と平成29年度現在との財政について、起債額及び財政基金は。

答 町長は就任当時、平成9年の年度末町債残高は、約7億3千万円、平成28年度末の町債残高は、約8億2千万円です。就任中20年間の町債残高の平均は、79億9千6百万円であり、年次差はあるものの町債を増やすことなってきたと考えます。一方で就任当時、約1億8千9百万円であった財政調整基金は、28年度末は約10億9千2百万円です。その他目的基金と合計すると総基金残高は18億2千2百万円となっています。また、歳出に占める償還金など公債費の比率がピークである平成16年度の最大28.0%から11.8%まで改善しています。これらは、歳入の

財政状況の推移		(単位:千円、%)											
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
当年度末町債残高	8,265,569	8,090,010	7,895,676	7,081,775	6,743,254	6,815,773	6,754,833	6,959,310	6,874,540	7,285,311	7,449,350	8,232,193	
公債費負担比率	25.8	21.5	21.6	20.6	18.6	17.0	15.7	15.1	14.6	13.9	12.7	11.8	
財政調整基金残高	49,866	33,114	26,494	40,391	138,400	481,375	631,919	771,919	900,426	937,642	1,000,361	1,092,618	
当年度町費執行額	605,200	687,800	381,400	302,700	353,817	751,077	563,560	784,263	500,126	1,027,158	772,972	1,472,124	
新入予算総額比	11.4	12.8	8.0	6.5	7.0	11.8	10.3	14.3	9.8	17.9	13.7	22.7	
当年度公債費額	1,075,283	1,043,302	1,044,260	969,774	826,401	798,124	737,848	685,463	682,913	705,689	690,119	759,406	
対歳入総額比	20.8	19.6	21.9	21.1	16.7	12.9	13.8	12.8	13.6	12.5	12.6	12.3	

当年度末町債残高	財政調整基金残高	公債費負担比率

確保に努めつつ、議員期末手当や特別職報酬のカット、職員定数の見直し等、身を切る改革を議会の皆様と一緒に取り組んだ結果であり、一財政運営の健全化が図られたと考えています。



町民参加、町民との連携をめざして 平成29年度議員と語る会を開催しました

知名町議会では、開かれた議会をめざして町民の皆様には議会の活動状況をお知らせし皆様方からのご意見や提言を町政に反映させるために議員と語る会を実施しております。

平成29年度は、10月25日から27日までの3日間、町内6ヶ所の会場で、2班に分かれて議員と語る会を開催しました。

6会場の参加者は

知名・屋子母地区	23名	屋子母公民館
田皆地区	34名	田皆コミュニティセンター
上城・下城・新城地区	12名	上城公民館
黒貫・瀬利党・小米地区	26名	瀬利党防災センター
住吉小学校区	25名	住吉公民館
下平川小学校区	15名	下平川公民館



議会定例会（年4回）臨時会の開催

年4回の定例会と臨時議会3回が開催され町民多数の傍聴がありました。



第1回定例会	一般質問者 8名	議会傍聴者 20名
第2回定例会	一般質問者 8名	議会傍聴者 47名
第3回定例会	一般質問者 8名	議会傍聴者 28名
第4回定例会	一般質問者 5名	議会傍聴者 37名
臨時会議会傍聴者数		議会傍聴者 16名



3月 国内34ヶ所目の国立公園として「奄美群島国立公園」が誕生



5月 所管事務調査 熊本県における熊本地震の復興状況、防災対策を学ぶ



11月 天皇后両陛下下沖永良部島御視察 町民の皆様方と奉送迎

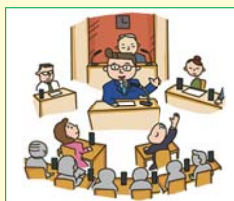
平成29年第3回臨時会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
承認第13号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第13号） 平成29年度知名町一般会計補正予算（第4号）について	承 認
議案第46号	工事請負契約の締結について （旧下平川保育所模様替工事）	可 決

平成29年第4回定例会で審議された案件

議案番号	件 名	議決結果
議案第47号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	知名町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第51号	平成29年度 知名町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第52号	平成29年度 知名町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第53号	平成29年度 知名町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第54号	平成29年度 知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第55号	平成29年度 知名町奨学資金特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第56号	平成29年度 知名町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第57号	平成29年度 知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第58号	平成29年度 知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第59号	平成29年度 知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第60号	平成29年度 知名町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第61号	字の区域変更について	可 決
陳情第2号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採 択
陳情第5号	特性マップ公表に伴うNUMOによる「核のゴミ最終処分場」に関する貴自治体での説明会の拒否を求める陳情について	採 択
発委第3号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決
発議第3号	議員派遣の件について	決 定
決定第6号	閉会中の継続調査の件について	決 定

議会を傍聴してみませんか。



議会の定例会は、年4回（通常3月、6月、9月、12月）開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。

9月

- 26日・平成29年第3回知名町議会定例会(2日目)
- 27日・平成29年第3回知名町議会定例会(3日目)
- 28日・第45回老連スポーツ大会(知名町老人福祉センター)
- 29日・平成29年第3回知名町議会定例会閉会

10月

- 1日・各小学校運動会
- 4日・議会ポラント作業(総合グラウンド)
- 5日・第24回日本観光鍾乳洞協会総会及び第30回日本鍾乳洞サミットIn球磨村(熊本県球磨郡球磨村)
- 7日・第1回運動会(認定こども園すまいる)
- 第5回運動会(認定こども園きらきら)
- 金子万寿夫衆議院議員来島
- 8日・第52回知名町民体育大会
- 14日・第2回町連誼会評議員会
- 14日・しらゆり保育園おたのしみ会(運動会)
- 19日・県産材の利用推進に関する要望活動
- 20日・第1回知名町障害者計画及び第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画策定委員会
- 24日・議員と語る会事前打合せ(公社)奄美大島法人会平成29年度知名支部報告会(フロアール館)
- 25日・平成29年度議員と語る会(田皆コミュニティセンター・屋子母公民館)
- 26日・平成29年度議員と語る会(上城公民館・瀬利寛防災

10月

11月

- 27日・平成29年度議員と語る会(住吉公民館・下平川公民館)
- 1日・国民健康保険運営協議会会長及び国保主管課長合同研修会(鹿児島市)
- 4日・元柴太一郎参議院議員歓迎会(フロアール館)
- 5日・知名町生涯学習フェスティバル式典(あしびの郷・ちなな)
- 尾辻秀久参議院議員献花(大山慰霊塔)
- 6日・平成29年第3回知名町議会臨時会
- 9日・平成29年度知名町子ども子育て会議(知名町中央公民館)
- 12日・神戸瀬利党会創立90周年式典祝賀会(神戸)
- 14日・学校訪問(町内各小学校)
- 15日・奉迎前日確認(フロアールホテル)
- 16日・奉迎(フロアールホテル)
- 17日・提灯奉迎(セントリ公園)
- 18日・ご案内(平秀徳氏花卉園場)
- 20日・平和の塔献花祭(大山野営場)
- 護国神社慰霊祭(神山神社境内)
- 遺族会総会並びに交流会(フロアール館)
- 地方自治法施行70周年記念式典(東京都)
- 21日・平成36年度全国大会(グランド

11月

12月

- 22日・第61回町村議会議長全国大会の開催及び本県関係国会議員への要望活動(NHKホール)
- 知名町立養護老人ホーム「長寿園」の在り方検討委員会
- 23日・竣工式・祝賀会(沖永良部徳式会館)
- 24日・奄美群島広域事務組合議会定例会・市町村長会
- 25日・奄美群島観光物産協会理事会・地域産業振興基金協会理事会(喜界町)
- 第38回知名町PTA研究大会(あしびの郷・ちなな)
- 27日・奄美群島振興開発総合調査に係る第2回意見交換会(鹿児島市)
- 2日・こども園発表会
- 3日・知名町長選挙
- 4日・総務部吉松次長来庁行幸啓お礼(町長室)
- 6日・三遊亭円楽講演会
- 7日・議会運営委員会
- 8日・平成末年始交通安全キャンベーン(名村モーターズ前)
- 9日・しらゆり保育園おゆうぎかい(あしびの郷・ちなな)
- 10日・29/30年期搬入出発式(南栄糖業株)
- 12日・平成29年第4回知名町議会定例会閉会

お詫びと訂正

議会だよりNo.146号(10月発行)の9ページの文章中、宗村 勝議員の「教育遺産・文化遺産」の保存、整備についての質問への答を町長とありますが、答弁は教育長でありました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。とうございませう。昨年はいろんな話題がありました。「さとうきび生産量の9万6千トン」も越え、皆で祝杯をあげました。

何より「天皇・皇后両陛下の行幸啓」には多くの町民が治道で奉送迎をし、町史に残る喜ばしい御来島でありました。

そして、前平安正盛町長が任期満了をもって退任されました。5期20年、町政に尽力され本当に御苦労様でした。それに伴って、選挙の結果、新しい町長が誕生しました。今井力夫町長が町政にどのような新風を吹き込むのか、町民も議会もワクワクドキドキしています。

平成30年「ここ掘れワン、ワン。宝がザックザック」とそんな年であればと願うばかりです。みんなで幸せな町づくりをしましょう。

議会広報委員 大蔵 哲治